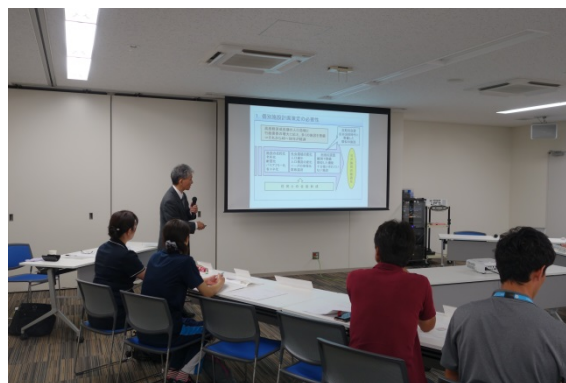


【会議録】

令和元年度
湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会
テーマ「公共施設の未来を考える」＜1回目＞

日 時	令和元年7月16日（火） 17:30～19:30	
場 所	湯沢市役所本庁舎 会議室 25・26	
委 員 出 席 者	<p>委員 京野 楽弥子 小野寺 呂典 山田 わかば 藤原 尚也 佐藤 春美 田中 健大 高橋 清子 柴田 麻衣子 沓澤 繁幸 土田 一宇宙</p> <p>委員以外 地域おこし協力隊 畠山 智行</p> <p style="text-align: right;">（計 11 人）</p>	<p style="text-align: center;">座席</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>高橋 清子 柴田 麻衣子 沓澤 繁幸 土田 一宇宙</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>京野 楽弥子 小野寺 呂典 山田 わかば 藤原 尚也 田中 健大 佐藤 春美</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">畠山 智行</p> 
市出席者	湯沢市公共施設アドバイザー、企画課長、企画政策班長、担当 （計5人）	
説 明	<p>企画課</p> <p>○趣旨説明</p> <p>○現状説明 「あなたも考えよう！湯沢市の公共施設」・・・公共施設の現状と課題</p> <div style="display: flex;">   </div>	

○情報提供 湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫 氏
演題 「公共施設のあり方を考える」



感想発表



小野寺委員

これから何年後かは分からないが、小学校、中学校、高校がどんどん合併して、廃校舎が増えると思うので、複合施設にしたり、企業に貸し出したりして、お金を少しでも生み出せればいいと思った。自分の仕事柄、県で開催している講習会に行くことがあるが、講習会の場として、市の施設を使ってもらえるようPRするのも一つの手ではないか。お金を生む取組を行えば、公共施設の増による財政圧迫も、少しは緩和されるのではないかと感じた。先程の話から、解体することが前提ではないことが分かったが、最悪の場合は解体するしかないのではないかなと思う。

山田委員

長く教育現場にいるため、学校統合については思うところがある。高校生の子どもや友だちの会話を聞くと、どうして体育館やグラウンドが点在しているのか、どうして気軽に立ち寄れるカフェがないのか、ということであった。湯沢高校は、保護者が車で入りにくい細い坂を上り、建物も古く、地域の方々に貸し出せるような状態でもない。高校のような大きい施設が湯沢の真ん中にあるならば、どんなに良いだろうと話していた。全てを壊せば良いわけではなく、活用していくことから考えなければいけないことも理解している。先程、施設を面的に俯瞰して考えるという話があったが、そう考えると、新しく建設することがどれだけ難しいかということも重々承知している。しかし、子どもたちは宝なので、その子どもたちの思いや希望も聞きながら進めていければ良いと感じた。

藤原委員	<p>難しい問題だというのが第一印象である。機能合体や、ニーズに合った施設にするということとは分かるが、おそらくニーズ調査は難儀だと思う。仮に建物を建て替えたときに、ニーズに合わなかったのが、来年またやり直すという話にはならないと思うので、慎重にニーズ調査して建物を造る必要があると思う。私は、4月から湯沢市に来たので、あまり公共施設について分からないが、特に屋内で食べ物を出したりするようなイベントを開催するときに、適当な会場が無いと聞いたことがある。</p>
田中委員	<p>難しい問題だと思ったが、率直に思ったのは、数ある公民館やコミュニティセンター等をそのまま維持していくのは難しいということである。やはり集約をして、数ある建物を一つの建物の中で実施していくのが、今後検討されることになるのではないかと思った。施設を集約していく中でポイントになっていくのが、そこが福祉のための施設なのか、シニア層向けなのか、子育て支援なのか、という市民のニーズをいかに拾っていくかではないか。そのポイントを今後、この話し合いの場でも話していければと思う。</p> <p>幼い子どもを持つ親として、市内で、子育てのための施設で、子どもが遊べる施設はあるのか聞きたい。</p>
市	<p>「子育て支援総合センターすこやか」は、一時預かりも含め、様々な教室の開催を行っているほか、親子で遊べる広場も備えている。子育て支援センターは旧市町村単位に4つあることにはなっているが、認知度については課題がある。</p>
田中委員	<p>「すこやか」については知っていたが、家族では知らないこともあったため、今後は、子育て支援策と併せ、PR方法についても話し合い、いろいろな活用方法を検討していければ良いと思った。</p>
佐藤委員	<p>昨日、実際公共施設（稲川生涯学習センター）を無料で、会議室を2時間、20人で子どもの部活動の保護者会の引継ぎで使った。学校は夜間会議等で利用することができず、近隣にカフェも無いため助かっているが、生涯学習センターに会議ができる場があるということを知らない保護者も多い。施設の有効活用を図るためには、どこにどんな施設があって、どういったときに、何に使えるのか、無料で使えるのかという情報提供が重要だと思う。冬に、子どもにバスケをしたいが、体育館などどこか使えないのか調べてほしいと言われたが、調べる術が分からず、断念したことがあった。稲川地域の小学校は統合することのことだが、子どもたちの間でも、三梨、稲庭、駒形の小学校が小学校ではなくなるという不安と、小学校がどうなるのかという不安を感じているようだ。しかし、体育館が使いたいという時に、そこが利用できるようなことがあれば、不安も夢に変わるのではないかと思う。</p> <p>収入と支出の面でいうと、支出を抑えるために見直すことがあると思うが、地域の皆さんと収入が増やせて、そして高齢者も元気になるイベント等を実施し、施設を有効活用できればいいと思った。</p> <p>家族に高齢者がいるが、その高齢者からすると、近くにあって歩いて行ける集会施設は無くされては困るとのことだが、実際は年に1回程度選挙で行くだけである。どうしても高齢者の方々の意見が通りやすく、若者や子どもたちの意見がなかなか通らないと感じているので、未来を担う子どもたちの声を採用してもらえれば、皆で理解できる答えになるのではないかと思う。</p>

京野委員

公共施設を集約していくのは必須な時代だと思うが、地域を歩くと、子どもの声も聞こえず、昔の賑やかさが無く静かで、空き家も増え、家の灯りがついていない、真っ暗な町になったと不安を感じる事が多くなった。民生委員としてお年寄りの方に会々と、足も悪くなってきて、遠出や買物が難しくなっているが、お茶飲みなど地域の集まりはとても楽しみにしており、そういった中で、公共施設がどんどん集約化されて通えなくなることは不安だと思う。

そんなに大きくなくていいので、例えば地域にある空き家を再利用して、地域の人達が集まれる場を市として作ってもいいのではないかと思った。少子高齢化が進んでいるが、高齢者の方も健康に、皆さんと一緒に地域の中で楽しく過ごせる時間を少しでも確保していきたいと思っている。

学校統廃合についても、地域に大きな穴が空いてしまうので、寂しさを感じている。



土田委員

貸館の利用率が3割を下回っているということ、それが82%もあるということに、かなりショックを受けた。施設をあまり利用する機会が無いため、いざ利用しようとした時に、どうやって使えばいいのかということも正直分からず、それが、利用しないということに繋がっているのではないかと思った。また、施設の再編と併せて、利用促進のための取組も必要だと思った。スポーツ施設は結構多いが、団体ではなく個人で使ってみようとした時に、団体予約でいっぱいだったという経験があり、個人では利用しにくいイメージである。これから若い世代の人たちが個人で、スポーツ以外でも、地域で何かしたいなというときに使える公共施設であることも必要だと思う。

学校統廃で廃校となる学校で、使用できるものは、少し改修するなどして人の集まれる場にすることもできると思う。全員が納得する再編は難しいと思うが、自分の地域から公共施設が無くなると距離的な不便を感じると思うので、話し合いは、非常に重要だと思った。

民間との協力という話もあったが、市だけで担っていくのは財政的にもかなり厳しいところがあるので、民間施設の一角を借りて小さなスペースを使って機能を維持していくという取組も力を入れる必要があるのではないかと思った。

沓澤委員

公共施設の問題については、若者の意見を聞きたいと思っていたので、この場に参加できて良かった。四、五年前に地元地区の老人憩の家の運営委員長をした経験があり、今回、改めて状況を確認させてもらって、本当にいい機会になった。広報などで情報提供をしていると思うが、あまり認知されていないと思う。地元の施設も利用率が悪いが、無くなったら困ると思うし、すぐ隣の部落にも、その隣の部落にも、小さな集会施設があるので、そこを利用できないわけではないと思う。しかし、高齢者の集まりがあった際には、遠いところまで歩いて

行けるかといったら、できない。集約すれば、1時間も歩かなければ行けない施設になってしまう場合もあるので、どうするのか気になっていた。財政面も含めて、色々な問題があることを、住民全員で考えるような機会が持てれば良いと思う。

地元の集まりでも高齢者ばかりで、若い人、女性が出ていない（出られない）という課題がある。移動の手段がある人はいいが、無い人、難しい人を最優先に考えて、アイデアを持ち寄って、様々な年齢の交流も含めて、多くの意見が集まるような場があればいいと思っている。



柴田委員

とても勉強になった。子どもが小さい頃は、湯沢市には大きい公園とかアスレチックや遊具のあるところがなかったので、よく隣の市の公園に行って鯉を見せたり、アスレチックに遊びに連れて行ったりしていた。大きいアスレチックがあって、周りにお花があるような、小さい子どもたちが外で遊べる場所があれば良いと思う。

高校生にとって、湯沢市で遊ぶところといえば、カラオケ、スーパー、市役所である。気軽に立ち寄れるカフェや遊べる場がないという不満の声がある。また、高齢者にとっては、昔は、歩いて何でも済ませていたものが、できなくなっていると感じているようだ。

かしま館を子どもの部活で利用することがあるが、かしま館のように利用しやすい施設が多ければありがたいと思う。

コンビニでも住民票が取れるという話だったが、高齢者はそういうことが苦手なので、高齢者も過ごしやすいような環境は残してもらいたい。

介護施設では、介護職に就く人が少ないため、部屋が空いているけれども受け入れができない状況が出てきている。中高生が介護実習できる施設を整備し、将来の介護職に繋げていくという取組をしている施設や団体がある。また、引きこもりの方の社会復帰のための就労支援の場、気軽に足を運べるような場を作ってもらいたいという声もある。利用できる施設をいくつか残して、そういうことに繋げていけたらいいと思う。

高橋委員

地区センターをよく利用している。女性部で料理講習会を行う際は、部員が少なくなっているので、岩崎、弁天、幡野が一緒になって、かしま館を利用している。弁天や幡野でも、設備が整えば使いやすいと思う。

仕事が終わってから、職場の仲間でバトミントンに行こうとなった際に、地区センターに電話すると、他の団体が入っているから無理だと言われたことがある。利用状況を調べる術がないので、情報提供してほしい。

市内には約450の施設があるとのことだが、知っているのは、学校関係や地区センターくらいだと思った。他にどういう施設があるのか、稼働率が1割未満の施設が多いとのことだが、どのような施設なのか知りたいと思った。将来の10年、20年後を考えた時に、この1割未満

<p>畠山さん</p>	<p>の施設は本当に必要な施設なのだろうと思うし、利用率の少ないところは、複合施設に移ってもやむを得ないと思う。そういうところは機能を閉鎖して、解体して、かかっていた費用を別のところの修繕に充てるなどしていくのが理想的ではないかと思った。</p> <p>遠方から親戚が来たとき、市内でどこか連れて行ってと言われても、なかなか連れていく所が無いので、湯沢市にはこういう施設があると言える、大きな施設があればいいと思った。</p> <p>再編計画の合意形成を進めていくに当たって、老朽化が進んで施設が使えなくなるという課題は、おそらくもっと前から見えていたと思うので、地域の皆さんに対して、なぜこれまで取り組んでこなかったのかということも説明が必要でないか。また、同じように先延ばししている行政課題というのは少なからずあるはずなので、そこに今回の反省を生かしていくという姿勢を見せるということが行政側として必要だと思う。</p> <p>施設の集約や統合に伴って、足の問題が出てくると思う。集会の度に行政が足を用意したり、民間のショッピングモールが買物バスを運行したり、様々な取組があると思うが、最近注目されているライドシェアの活用も検討してほしい。日本では法律上の問題があるが、一部特区として開放されている地域もあるので、実証実験の特区、雪国におけるライドシェアの実証実験に手を上げるような、攻めの行政の姿勢も必要だと思う。</p> <p>機能をさまざま付加するという方法があるが、例えば民間事業者を活用する際の多様なニーズに応えるためには、インフラの整備（通信網）も必要である。例えば湯沢市全体を見渡した時に、一部ブロードバンド化が進んでいない地区もあるが、1ユーザー、1コンシューマーの声はなかなか届きにくいので、通信キャリアの動きを踏まえながら、どう地域に敷設していくのかという戦略も、行政として考えていくべきだと思う。</p>
<p>説明</p>	<p>企画課</p> <p>○湯沢市公共施設再編計画（中間案）の概要</p> <p>・・・第1章、第2章（各分類の基本的な考え方）</p> <div data-bbox="284 1317 858 1697"> </div> <div data-bbox="869 1317 1444 1697"> </div> <p>事務連絡</p> <p>次回まで再編計画（中間案）を見てきてもらうよう依頼</p>
<p>質疑応答等</p> <p>沓澤委員</p>	<p>今日の話を各々持ち帰り、次回まで、友だちや家族と話して意見を聞いてほしい。皆さん1人が話題にすれば、また様々な意見が集められると思う。</p> <p style="text-align: right;">(19:30 終了)</p>